

## すぎな愛育園 令和5年度 児童発達支援

### ガイドラインアンケート実施結果を公表します

すぎな愛育園では、より良いサービスを提供するために、「児童発達支援ガイドライン」をもとに、保護者様のご意見をアンケートで伺いました。ニーズと課題を明確にしていくことで、今後のサービス提供内容の充実と、支援の質の向上を目指してまいります。

#### 《 保護者様からのご意見 》

項目	いただいたご意見	ご意見をふまえた対応
環境・体制整備	トイレの老朽化や支援中の室内の砂など、衛生面が気になることがあります。専門性はあるが、人数がより増えるとよいです。	修繕や清掃を適宜行い、安心できる環境を整えます。職員間で連携を図り、より細やかに対応していきます。
適切な支援の提供	ガイドラインの内容がわかりません。保育園交流が一部再開され、子どもにとって良い刺激になっています。	支援計画書にガイドラインの内容を記載します。R6年度から、全園児が保育園交流を経験できるよう再開します。
保護者様への説明等	面談・交換ノートなど相談の機会が多いです。懇談会や子育てサロンなど、他の保護者と意見交換をする場もあり参考になります。	きらきら保護者も含め、全クラスで集まれる合同懇談会や保護者参加の機会を設ける予定です。
非常時の対応	マニュアルをもらっています。災害時の連絡訓練を行っています。子どもたちの避難訓練についてはよくわかりません。	火事や地震を想定した避難訓練を毎月行っています。お子さんの様子をお伝えする機会を設けていきます。
満足度	子どもが毎日笑顔で通える場所があることを幸せに思います。休みの日でも行きたがっています。	ご家族、子どもたちの満足につながるよう今後も努力してまいります。

#### 《 当園自己評価 》

項目	改善策および取り組み状況
環境・体制整備	建物が老朽化しているため、丁寧な環境整備と修繕を適宜行ってまいります。園内でにぎやかに走り回って遊ぶお子さんも楽しめ、静かな環境を好むお子さんも安心して過ごせるよう、配慮していきます。
業務改善	保護者様のご意見や、各職員の気づき・提案を聞き取る機会を年に何度か設け、支援内容の改善を図ってまいります。支援スキル向上を目指し、園内外の職員研修を引き続き充実させていきます。
適切な支援の提供	年度初めのアセスメント、年3回のモニタリングを元に個別支援計画を作成し、計画に沿ってお子さんへの支援を行っています。担任だけでなく、全職員で全園児の支援を行うための情報共有を継続してまいります。
関係機関や保護者様との連携	お子さんへのよりよい関わりのために、必要に応じ他機関と打合せを行っています。保護者様とは、おたより帳のほか電話や交換ノート、任意面談を活用し、情報共有しています。
保護者様への説明責任等	必要事項は、入園説明会や紙面で随時説明しています。母親参加・父親参加・祖父母参加を行い、園でのお子さんの過ごし方や支援内容を共有しています。他機関にお子さんの様子をお伝えする際には、必ず保護者様の了解を得ています。
非常時等の対応	健康管理に配慮のいるお子さんには、看護処置マニュアルを作成しています。災害伝言ダイヤルを活用した保護者様との連絡訓練を充実させていく予定です。園児の避難訓練は、今後も様々な状況を想定して継続してまいります。